

## ■正しい運転操作

### エンジンのかけかた

1. キルスイッチが"RUN"になっていることを確認します。
  2. フェューエルコックレバーを"ON"にします。
  3. メインスイッチを"ON"にします。
  4. チェンジをニュートラルにします。(ニュートラルランプで確認してください。)
  5. チョークノブをいっばい上げます。
- エンジンが暖まっているときは、チョークノブを使用する必要はありません。**

	冷えているとき	暖まっているとき
チョーク	全 閉	全 開
グリップ	全 閉	1/4～1/2

6. 右ステップを上上げる。(20頁参照)
7. 加速ポンプ付なのでスロットルグリップの繰返し操作をせず力強くキックしてください。(キックは、クラッチを切ればニュートラルでなくても始動できるプライマリ・キック方式です。) 通常の場合これでもエンジンがかかります。(エンジンがかからないときは、46ページ記載の要領で確認してください。)
8. エンジンがかかったらチョークノブを2,000～2,500 rpmになるように徐々に回転を下げて暖機運転をし、チョークノブを完全に戻してからスタートします。

#### 注意

- チョークノブの作動状態はアジャスターをまわして調整できる。

この車はエンジン始動時にキックを軽くするための機構を装着しています。この装置はキックスターターペダルと連動していますので、ペダル最上段の位置から、勢いよくキックしてください。

#### 注意

- この車のキャブレターは、加速ポンプ付です。エンジン停止時および始動時にスロットルグリップを繰り返して操作しないでください。シリンダー内にガソリンが多く送られ、エンジン始動不良の原因となります。

